

割となった。以上から、プログラムにおいて扱われた情報量は適切であり、前年度に比して参加者にとって役に立つワークショップとなったといえる。また友だちに知らせたいと答えた者が8割を超えたことは、参加者の性的ネットワークを通じて、介入の効果が地域のコミュニティに広がり、コミュニティのセイファーセックスに関する規範に影響を与えていく可能性を示していると考えられる。どれくらいの知人や友人にイベントの内容を伝えたのか、どのような内容を伝えたのかについても、今後フォローテスト等で調査していくことが今後の課題であると考えられる。

#### a) 影響評価A(全体評価)

##### [知識について]

体液および身体部位の知識では、当初より正答率の高かった項目を除き、正答率の低かったものはいずれも有意に正答率が上昇した。感染行為の知識では、コンドームなしで口内射精される、コンドームを使わずにアナルに射精される、が感染可能性があることは9割以上の参加者に伝わっていたが、それ以外の行為については知識が十分に伝わっておらず、正確な知識を伝える必要性のあることが明らかになった。介入の結果、概ね正答率が上昇したが、コンドームなしのペニスを含め、では、ポストテスト、フォローテストで正答率が8割にととまりに大きな変化は見られなかった。今後の介入においては、情報の伝え方に関してさらなる改善が必要であることが明らかになった。

##### [イメージについて]

介入の結果、「コンドームを使ったセックスはHな感じがする」「セイファーセックスは気持ちよい」「セイファーセックスはやりかたが決まっていない」の全項目において肯定的なイメージが有意に増加した。

##### [交渉スキルについて]

介入の結果、オーラル/アナル・セックスにおける交渉スキルの認知向上が達成された。

##### [自己効力感について]

介入の結果、口内射精の回避およびアナルセックス時のコンドーム使用についての自己効力感が上昇した。

##### [性行動について]

プレテストと比べフォローテストで4項目すべてにおいてリスク行動が有意に減少した。

##### [まとめ]

感染行為についての知識が参加者に十分に伝わっておらず、またそれ以外の行為については知識が十分に伝わっておらず、とりわけコンドームなしのペニスをなめる、を含む、感染行為に関する情報の伝え方に関してさらなる改善が必要であることが明らかになった。以上から、小グループレベルの介入プログラムである LIFE GUARD において啓発効果が確認されたといえる。

#### b) 影響評価B(東京圏内バージョンA vs 東京圏内バージョンB)

バージョンAとバージョンBの効果を比較したところ、スキルの認知の2項目においてバージョンBのほうが主効果において有意に高く、感染身体部位のへそ、自己効力感の2項目の計3項目で交互作用が見られたが、介入の効果によりBバージョンのほうが高かったのは自己効力感における口内射精のみであった。したがって、バージョンA、Bという介入形式による効果が見られたのは、29項目中3項目だけであった。以上の結果から、スキル認知および自己効力感においてBバージョンのほうが介入の効果が見られたが、その他では介入の効果に差はなかった。その理由としてミニレクチャーおよびパネルゲーム(テクニックとハウツーをみがけ)が両バージョンともに実施されていることが考えられる。

#### c) 影響評価C(東京圏内 vs 東京圏外)

東京圏内と東京圏外の結果を比較したところ、感染体液における尿道口、感染行為におけるコンドームなしのペニスをなめられたら、イメージにおけるコンドームを使ったセック

スはHな感じがする、スキル認知の2項目、の計5項目において介入地域で有意な差が見られたが、尿道口とHな感じがするでは圏外のほうが、残りの3項目では圏内のほうが平均が高かった。

また、感染体液における先走り液、イメージにおける残りの2項目、自己効力感の2項目、以上の計5項目で交互作用が見られた。このうち、介入地域の単純主効果を検討したところ、有意でありかつ介入の効果が反映されるポストテストで有意であったのは、イメージにおける気持ちよい、自己効力感におけるアナルセックスの2項目だけであったり、いずれも東京圏内の方が高い平均を示した。以上から、25項目中、18項目で介入地域による差は見られず、東京圏内・東京圏外においてほぼ同様のプログラムを実施することが可能であることが明らかになった。

## (2) 効果評価方法について

### ① 今回の採用にあたっての妥当性と限界

#### a) 効果評価指標について(普及理論の理論的仮説を検討するための効果指標の検討)

普及理論とは、革新が社会システムのメンバーのなかで伝わっていく過程に関する研究をさす。エイズ研究においては、セーフターセックスという新しい行動(革新)が時間をかけてある集団のメンバーに流通し、受け入れられていくプロセスと関連づけて研究が行われてきた。そのなかでも注目すべき点は、革新の普及において鍵となる存在は、オピニオンリーダーと呼ばれる層への普及である(普及理論の概略については分担研究1を参照)。

本研究では、ワークショップにおいてとりあげられるセーフターセックスのエロティック化を、参加者をつうじて地域コミュニティに普及させ、リスクの高い性的規範や性行動

を変容させていくことを試みている。具体的には、行動変容を促すための規範の普及にあたっては、まずバーの顧客にアプローチすることをつうじて、普及理論におけるオピニオンリーダー層をつくりあげていくことが考えられる。

その意味で、ワークショップで取り上げられた知識やセーフターセックスについての新たな捉え方が、まず参加者にどのように受容され、行動変容を導いたのか、また参加者が持つコミュニティ内のネットワークにどのように波及していったのかを、換言すればワークショップに参加していない地域コミュニティの成員にいかにかに伝播していったかが、小グループレベルの介入における成否を判断する要素のひとつになるといえよう。

本年度は、このような観点から、ポストテスト(1ヵ月後アンケート)の7番において、「今回のイベントでとりあげられたエイズについての話題を、友だちにも知らせてあげたいと思いませんか?」という質問を設けている。この質問は、ワークショップで取り上げた内容を、参加者の持つコミュニティのネットワークに波及する可能性を明らかにするためのものである。

#### b) 効果評価手法について

ワークショップの効果評価手法は、プレ・ポスト・フォローアップの質問票アンケートであるが、本年度の効果評価にあたっては、質問票において、表73に掲げる点について修正および追加を行った。これらは、以下のそれぞれの理由から修正および追加を行うことにより、より適切な手法となるものと考察するものである。

表 73-1 質問表の修正および追加についての考察

①参加動機	
変更点	参加動機の選択肢から、エイズについて友だちに知らせたい、を削除した
理由	前年度のアンケートで回答者がほとんどいなかったため
反映場所	プレテスト2番
②感染可能性のある体液についての設問	
変更点	昨年度の質問項目（血液、汗、膣分泌液、唾液、精液、涙）に、新たに先走り液を追加した
理由	オーラルセックスでのリスクについて明確にするため
反映場所	プレテスト3番、ポストテスト8番、フォローテスト1番に反映
③オーラルセックスの経験の有無	
変更点	前年度までは、これまでのオーラルセックスの経験の有無に関してたずねていなかったが、本年度からは「これまでペニスをしやぶったり、しゃぶられたりしたことはありますか」という質問を設けた
理由	前年度までの質問では、「口の中に射精する／されることはありますか」という回答の選択肢の中に、「その行為はしない」という項目があったが、これでは、オーラルセックス自体をしていないのか、それともオーラルセックスはするがリスクを回避するために口内射精をしないのかが識別できないため
反映場所	プレテスト8番、フォローテスト6番

表 73-2 質問表の修正および追加についての考察

④アナルセックスの経験の有無	
変更点	前年度までは、これまでのアナルセックスの経験の有無に関してたずねていなかったが、本年度からは「これまでアナルセックスをしたことはありますか」という質問を設けた
理由	前年度までの質問では、「アナルにペニスを入れる／入れられるとき」という回答の選択肢の中に、「その行為はしない」という項目があったが、これでは、アナルセックス自体をしていないのか、それともアナルセックスはするがアナルに挿入する／挿入される行為をしないのかが識別できないため
反映場所	プレテスト11番、フォローテスト9番
⑤ふだんのセックスで心がけていること	
変更点	前年度までの「あなたはふだんのセックスで、どんなことを心がけていますか」という設問および回答の選択肢（6問）を本年度から削除した
理由	前年度までは、1つの設問にすべての回答の選択肢を含めていたため、誤回答が多かった。誤回答を防ぐには、それぞれの設問を独立させて聞く必要があるが、質問用紙のスペースの関係上、不可能なため
⑥他の参加者との相互作用	
変更点	前年度における「このイベントで他の参加者話ができ了吗か」という設問を本年度から削除した
理由	参加者間の直接の相互作用を期待するよりも、プログラムの司会をとおして、参加者の工夫や経験を引き出すことがプログラム上の重要であるため
⑦ワークショップがエイズや性感染症の予防に役立つか	
変更点	本年度から「このイベントは、エイズや性感染症の予防に役立つと思いませんか」を新設した
理由	参加者による形態評価をより端的に表す項目として、どの程度役に立ったかを4択で聞く質問は、効果評価をするうえで役立つと考えられたから
反映場所	ポストテスト4番
⑧1ヵ月後アンケートの回答率上昇のための設問	

変更点	「どのような条件だったらアンケートに協力しやすくなりますか」を本年度から新設した
理由	プレテスト、ポストテストと比べ、フォローテストの回答率が低くなっており、その阻害要因を明らかにするため
反映場所	ポストテスト 16 番

### 【フォローテストの回収率上昇のための検討】

ポストテストにおいて、どのような条件だったら、1ヵ月後のアンケートに協力しやすくなりますかを尋ねた結果が、表 66 である。その結果、上位3項目は、簡単に答えられる質問であること(60.6%)、個人情報を守られること(49.0%)、時間がかからないこと(36.7%)であった。なお、答えやすい時間の平均は10.5分であった。謝礼が魅力的であることに関しては、4.8%の回答しかなく、上位3項目に比べて優先順位が低く、現状の謝礼500円程度で概ね満足してもらえていると考えられた。

以上の結果から、フォローテストの協力を依頼するにあたっては、個人情報を守られ、答えやすい質問であり、所要時間は10分であることを強調することが有効であると思われる。

表 74 1ヵ月後アンケートに協力しやすくなる条件(MA、3つまで)

条件	N	%
簡単に答えられること	152	60.6
時間がかからないこと	92	36.7
謝礼が魅力的なこと	12	4.8
個人情報を守られること	123	49
口頭で答えられること	32	12.7
その他	5	2

## ②今後の見直しと改良の方向性

### a) 効果評価指標について

次年度においては、さらにどの程度ワークショップの内容が地域コミュニティに伝播したかを明らかにするためには、以下に掲げる点について検討すること予定している。

- ・その地域にはどのような同性愛者のネットワークや出会いの媒体や場が存在してい

るか？

- ・参加者がどのような同性愛者のネットワークを持っているか(性的関係を含む友人のネットワーク、出会いのために利用する媒体や場)、またこれらのネットワークをどの程度利用しているか？
- ・参加者がワークショップで取り上げられた内容のうち、どれくらいの人にどのような内容を伝えたか？
- ・地域コミュニティのメッセージを伝えるうえで、誰がコミュニティのキー・パーソンでオピニオンリーダーとなる人か？
- ・オピニオンリーダーとなる人が見つかった場合にどのようにアプローチし、介入への協力依頼をどのように行っていくか？

この試みは、知識や性行動の変化のみならず、啓発介入が1つのコミュニティに動的、量的、相互作用的に波及する影響について、科学的に捕捉することを可能にする意味で、今後とも一層の検討作業が必要とされている。

### b) 効果評価手法について

ワークショップ型プログラムの効果評価については、参加者にするプログラム開始前(プレテスト)、終了直後(ポストテスト)、1ヶ月(フォローアップテスト)の計3回アンケート調査を実施し、形態評価、影響評価を行なうことを継続採用する。その上で上記に掲げる普及理論に基づいた効果評価指標の測定を強化するためには、ワークショップの開催(参加)は主たる介入ではあるが、あくまで1つの過程と考え、地域コミュニティにおいて、どのような伝播がどのような作用によって影響されるかを下記のようなその前後に行われる要素も含めて検討していく必要がある。

(例) 事前に行われる要素	広報、呼びかけ、話題づくり、インフォーマルなリクルート作業、開催店（バー等）のマスターとの事前準備作業等
事後に行われる要素 (例)	参加者間の相互作用、参加者の友人への口伝え、開催店（バー等）のマスターによるフォローアップ、参加者のリピート化（再参加）等

そのためには、調査の実施時期、調査対象者の拡大等の検討も必要と考えられるため、次年度以降の検討課題としたい。

#### 4. マンガを活用した啓発資料

##### (1) 啓発介入の効果評価として得られた結果（要約）

マンガを活用した啓発資料の影響評価を行うため、①交渉スキルの認知、②自己効力感、③性行動について、チラシ読了群と非読了群の2群間で平均の差を検定した。

- ①スキルについて オーラルセックスおよびアナルセックスのいずれにおいても、読了群のスキルの認知が有意に高い傾向であった。
- ②自己効力感について オーラルセックスおよびアナルセックスのいずれにおいても、読了群の自己効力感が有意に高い傾向であった。
- ③性行動について 4項目のうち3項目において読了群と非読了群との間で有意な差は見られなかったが、「アナルにペニスを入れられるときコンドームを使わなかった」では、読了群のほうが有意にリスク行動をとるものが少なかった。

##### (2) 効果評価方法について

###### ①今回の採用にあたっての妥当性と限界

###### a) 効果評価指標について

今回のマンガを活用した啓発資料の啓発目的は、HIV 感染におけるリスク回避のための交渉スキルをマンガ形式で紹介したものである。その評価指標としては、①そのスキルを認知したか、②そのスキルを実際に自分ではできると思うか？、③その認知は読者の性行動

に変化をもたらしているか？というものである。①と②については、有意に高い傾向が見られ、リスク行動の規定要因であるスキルや自己効力感に影響を与えうることから、他の介入プログラムと連携しながらリスク行動の減少を促進する役割をマンガを活用した啓発資料が担うことは可能であると思われる。③の性行動については、データ上である程度の効果は確認されている。しかし、「性行動」はいわばこのようなエイズ予防啓発介入における最終目標指標であり、このようなチラシという1つの紙媒体の読了のみでそれが達成される、あるいはされないと考えることには限界がある。そのため、むしろ啓発効果を構成する媒体の1つとして意義があることの確認としておくべきと考えている。

###### b) 効果評価手法について

今回の読了群と非読了群の2群間比較については、比較対象を設けている意義は大きいと考えられる。また、チラシの配布対象層がワークショップの開催にあたって広報を呼びかけた対象層を含んでいるため、調査運営上の合理性から別の啓発介入であるワークショップ開催時において、参加者にアンケート協力を得た。この手法においては、プレアンケートというワークショップ開催前に実施していることから、「ワークショップへの参加」という介入の影響を受けることを回避する配慮していることを述べておきたい。しかしながら今回のマンガを活用した啓発資料がコミュニティレベルの介入モデルを目指していることを考えると、より広範囲なコミュニティ全域での影響の度合いを捕捉できる調査方法論ではないと考えている。

###### ②今後の見直しと改良の方向性

###### a) 効果評価指標および効果評価手法について

個人レベル、小グループレベル、コミュニティレベルにおける各啓発モデルの評価手法において、実施運営上、最も困難を伴うものがこのコミュニティレベルにおける啓発介入

に係るものである。その理由の1つは、コミュニティレベルで行われる啓発介入の実施で想定されるメディアには、パンフレット、ポスター、インターネット、新聞、テレビ等を含むさまざまな広告等があるが、その認知をコミュニティ規模で得るためには、相応の労力とコストが必要とされるためである。よって、コミュニティレベルの効果評価の前提となる条件は、その介入がコミュニティ規模への影響力を持てるだけの量的展開が実施されていることであり、その前提があつて、初めてその内容の評価が可能となる。今回のマンガを活用した啓発資材は複数地域の190箇所の店舗に3万部を配布したものであるが、ワークショップの開催地域に限定的に配布されているため、現在のゲイ・コミュニティの規模を考慮するとその全域をカバーできていないものではない。そのため、今後の検討課題としては、分担研究1の研究対象領域となるが、コミュニティ規模での配布形態あるいは、配布協力体制の検討が前提となると考えられる。

また、コミュニティレベルにおける啓発介入において最も重要な指標はコミュニティに流通する規範(コミュニティ規範/周囲規範)

が形成されたかどうかである。知識や予防スキル、性行動の選択は、個々人が独立して獲得されるものではなく、その人が属するコミュニティに流通する共通の志向性が規範となって定着すると考えられている。そのため、その集団の予防行動に貢献する規範が形成されるような啓発介入が理想であり、もっとも広範囲に影響を与えることを目的としているコミュニティレベルの啓発介入では「その規範の形成の有無」を評価指標としていくことが理想である。この点については、次年度以降の継続検討課題としていきたい。

## E. 結論

本年度の本研究は、分担研究1「啓発手法モデルの開発に関する研究」において、本年度に取り扱った啓発手法に対応した効果評価手法の選定・開発研究を行った。また、その指標と評価手法を実際に啓発介入に適用する過程を通して、方法論として有効性があるかどうかについて検証した。

表75に啓発手法名と選定及び開発した評価手法並びにその結果をまとめる。

表75 対象啓発手法名及び選定・開発した評価手法/結果

類型	対象啓発手法名	選定・開発した評価手法	結果
個人レベル	①フリーダイヤル型電話相談 (STD情報ライン)	サービス利用者・相談記録の集計・分析	形態評価の一部に有効性が確認された
	②インターネットを活用した介入 (STD情報ページ)	ホームページ上での利用者へのアンケートの実施	形態評価の一部に有効性が確認されたが、一部方法論に再検討を要する
小グループレベル	③ワークショップ型プログラム (LIFEGAURD)	参加者へのプレ・ポスト・フォローアップ・アンケートの実施	手法として十分な有効性が確認された
コミュニティレベル	④マンガを活用した啓発資材	質問票調査において「読了群」「非読了群」の2群間で影響を評価	今回の調査範囲では一定の有効性が確認されたが、コミュニティ規模での有効性は未知数

### (1)フリーダイヤル型電話相談(STD 情報ライン)

本年度用いた評価手法は、「サービス利用者・相談記録の集計・分析」であり、このプログラムが現在果たしている役割の把握をみた形態評価の中でにおいて、一部有用な情報を得られていた。

一方、このプログラムが利用者にとどのような影響を与え、エイズ予防啓発介入としてどのような変化を生んでいるかについては、現在の手法では検証できていないため、実施における実施施行上の妥当性も含めて今後検討すべき項目とされた。

### (2)インターネットを活用した介入(STD 情報ページ)

形態評価としてプログラムの機能を評価するために、利用者の目的の達成度(「知ったかった情報を入手できたか」「使いやすかったか」「STDの知識は増えたか」等)を効果指標として設定した。実際の調査では利用者から一定数の協力を得ることができたが、協力者の意識・関心の程度に依存しており、また比較対象群の設定がないことから、これらの達成度は一部分の利用者の主観的な感想や印象を収集する段階にとどまっていた。

また、このプログラムが利用者のニーズにどのように対応しているかについての考察に役立つ評価指標を開発し、より具体的に設定することの重要性が課題とされた。

### (3)ワークショップ型プログラム(LIFEGAURD)

プログラム開始前(プレテスト)、終了直後(ポストテスト)、1ヶ月(フォローアップテスト)の計3回アンケート調査を実施し、形態評価、影響評価を行なう手法を開発・適用した。ワークショップ型プログラム(LIFEGAURD)という単一の啓発手法についての効果評価手法としては、評価内容および運営上の妥当性も含めて、十分な有効性が確認

された。

次年度以降の検討課題としては、ワークショップ型プログラムを単一の啓発手法としてではなく、ワークショップの開催(参加)を地域コミュニティにおける予防啓発介入の1つの過程と捉えなおし、その前後に行われる要素も含めて検討していくことを、次年度以降の検討課題としている。

### (4)マンガを活用した啓発資材

マンガを活用した啓発資材を読んだ場合(読了群)と読んでいない場合(非読了群)の2群間で、①そのスキル認知、②自己効力感、③性行動を、それぞれ評価指標として設定した。この手法は、今回の調査を行った対象者間では、一定の有効性が確認されたが、広範囲なコミュニティ全域での影響については、その有効性は確認されていない。そのため、今後の検討課題としては、コミュニティ規模での配布形態あるいは、配布協力体制の検討を含めて啓発介入手法とより緊密な検討作業が必要とされた。

## F. 健康危険情報 なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

大石敏寛. 札幌・東京近郊および松山における男性同性愛者等のリスク要因調査と啓発介入の試み; リスク・アセスメント調査の分析結果. エイズ対策情報交換. 11(4):1-8, 2003.  
大石敏寛. 札幌・東京近郊および松山における男性同性愛者等のリスク要因調査と啓発介入の試み(第2報); HIV/STD 予防啓発手法への反映. エイズ対策情報交換. 11(5):3-27, 2003.  
大石敏寛. 札幌・東京近郊および松山における男性同性愛者等のリスク要因調査と啓発介入の試み(第3報); HIV/STD 予防啓発介入のプログラム評価. エイズ対策情報交換. 11

(6) : 2-18, 2003.

Takashi KAZAMA, Kazuya KAWAGUCHI. "HIV Risk and the (Im)permeability of the Male Body: Representations and Realities of Gay men in Japan" Roberson, James and Suzuki Nobuc ed., Men and Masculinities in Contemporary Japan, Routledge Curzon, 180-197, 2003

風間孝. 介入の場としてのゲイ・ポルノグラフィ. 女性学 (日本女性学会). Vol. 10: 8-29, 2003.

風間孝. 生—権力と死——エイズの時代における男性同性愛者の表象をめぐって. 解放社会学研究 (日本解放社会学会). 17: 33-58, 2003.

## 2. 学会発表

鳩貝啓美、柏崎正雄、菅原智雄、風間孝. 日本のゲイ男性/MSM における医療保健サービスへのアクセシビリティの阻害要因についての調査. 日本エイズ学会、2003年、神戸.

風間孝、大石敏寛、柏崎正雄、菅原智雄、河口和也、宮内典子、富田美奈子、鈴木賢、木村秀和. 男性同性愛者等を対象とするワークショップ型介入に対する効果評価. 日本公衆衛生学会、2003年、京都.

風間孝、大石敏寛、柏崎正雄、菅原智雄、河口和也、宮内典子. ゲイ男性等を対象とするワークショップ型介入の予防効果を評価する. 日本エイズ学会、2003年、神戸.

H. 知的財産権の出願・登録状況 なし



(別表)

表 44 口内射精を避けることができる

テスト	バージョン	平均値	標準偏差	N
プレ	A	3.08	0.73	62
	B	2.94	0.75	80
	総和	3	0.74	142
ポスト	A	3.49	0.59	67
	B	3.61	0.52	84
	総和	3.56	0.55	151
フォロー	A	3.48	0.57	31
	B	3.74	0.49	82
	総和	3.67	0.53	113
総和	A	3.33	0.67	160
	B	3.43	0.69	246
	総和	3.39	0.68	406

表 45 アナルセックスでコンドームを使うことができる

テスト	バージョン	平均値	標準偏差	N
プレ	A	3.61	0.59	61
	B	3.4	0.77	80
	総和	3.49	0.7	141
ポスト	A	3.76	0.43	67
	B	3.8	0.4	84
	総和	3.78	0.41	151
フォロー	A	3.74	0.44	31
	B	3.88	0.33	82
	総和	3.84	0.37	113
総和	A	3.7	0.5	159
	B	3.7	0.57	246
	総和	3.7	0.54	405

表 46 血液

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.97	0.16	148
	圏外	0.99	0.1	98
	総和	0.98	0.14	246
ポスト	圈内	0.99	0.08	151
	圏外	0.99	0.1	100
	総和	0.99	0.08	251
総和	圈内	0.98	0.13	299
	圏外	0.99	0.1	198
	総和	0.99	0.12	497

表 47 汗

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.9324	0.2519	148
	圏外	0.9592	0.1989	98
	総和	0.9431	0.2321	246
ポスト	圈内	1	0	151
	圏外	0.99	0.1	100
	総和	0.996	0.0631	251
総和	圈内	0.9666	0.1801	299
	圏外	0.9747	0.1573	198
	総和	0.9698	0.1713	497

表 48 膣分泌液

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.68	0.47	148
	圏外	0.73	0.44	98
	総和	0.7	0.46	246
ポスト	圈内	0.91	0.29	151
	圏外	0.95	0.22	100
	総和	0.92	0.27	251
総和	圈内	0.8	0.4	299
	圏外	0.84	0.36	198
	総和	0.81	0.39	497

表 49 だ液

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.8446	0.3635	148
	圏外	0.7755	0.4194	98
	総和	0.8171	0.3874	246
ポスト	圈内	0.9603	0.196	151
	圏外	0.99	0.1	100
	総和	0.9721	0.165	251
総和	圈内	0.903	0.2964	299
	圏外	0.8838	0.3212	198
	総和	0.8954	0.3064	497

表 50 精液

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.97	0.18	148
	圏外	0.96	0.2	98
	総和	0.96	0.19	246
ポスト	圈内	1	0	151
	圏外	0.99	0.01	100
	総和	1	0.06	251
総和	圈内	0.98	0.13	299
	圏外	0.97	0.16	198
	総和	0.98	0.14	497

表 51 涙

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.9324	0.2519	148
	圏外	0.9592	0.1989	98
	総和	0.9431	0.2321	246
ポスト	圈内	0.9934	0.814	151
	圏外	0.99	0.1	100
	総和	0.992	0.891	251
総和	圈内	0.9632	0.1886	299
	圏外	0.9747	0.1573	198
	総和	0.9678	0.1767	497

表 52 先走り液

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.72	0.45	148
	圏外	0.84	0.37	98
	総和	0.76	0.43	246
ポスト	圈内	0.98	0.14	151
	圏外	0.97	0.17	100
	総和	0.98	0.15	251
総和	圈内	0.85	0.36	299
	圏外	0.9	0.3	198
	総和	0.87	0.34	497

表 53 肛門の中

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.96	0.2	148
	圏外	0.97	0.17	98
	総和	0.96	0.19	246
s ポスト	圈内	0.99	0.11	151
	圏外	0.98	0.14	100
	総和	0.98	0.13	251
総和	圈内	0.97	0.16	299
	圏外	0.97	0.16	198
	総和	0.97	0.16	497

表 54 ヘソ

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.9054	0.2936	148
	圏外	0.949	0.2212	98
	総和	0.9228	0.2675	246
ポスト	圈内	1	0	151
	圏外	1	0	100
	総和	1	0	251
総和	圈内	0.9532	0.2116	299
	圏外	0.9747	0.1573	198
	総和	0.9618	0.1919	497

表 55 口の中

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.82	0.38	148
	圏外	0.8	0.41	98
	総和	0.81	0.39	246
ポスト	圈内	0.89	0.32	151
	圏外	0.84	0.37	100
	総和	0.87	0.34	251
総和	圈内	0.86	0.35	299
	圏外	0.82	0.39	198
	総和	0.84	0.37	497

表 56 亀頭

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.5541	0.4988	148
	圏外	0.5612	0.4988	98
	総和	0.5569	0.4978	246
ポスト	圈内	0.8212	0.3845	151
	圏外	0.87	0.338	100
	総和	0.8406	0.3667	251
総和	圈内	0.689	0.4637	299
	圏外	0.7172	0.4515	198
	総和	0.7002	0.4586	497

表 57 尿道口

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.75	0.43	148
	圏外	0.84	0.37	98
	総和	0.78	0.41	246
ポスト	圈内	0.95	0.22	151
	圏外	0.98	0.14	100
	総和	0.96	0.2	251
総和	圈内	0.85	0.36	299
	圏外	0.91	0.29	198
	総和	0.87	0.33	497

表 58 ディープキス

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.8446	0.3635	148
	圏外	0.8367	0.3715	98
	総和	0.8415	0.366	246
ポスト	圈内	0.9801	0.14	151
	圏外	0.96	0.1969	100
	総和	0.9721	0.165	251
総和	圈内	0.913	0.2822	299
	圏外	0.899	0.3021	198
	総和	0.9074	0.2901	497

表 59 コンドームなしで口内射精されたら

テスト	圏内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圏内	0.92	0.27	148
	圏外	0.89	0.32	98
	総和	0.91	0.29	246
ポスト	圏内	0.96	0.2	151
	圏外	0.95	0.22	100
	総和	0.96	0.21	251
総和	圏内	0.94	0.24	299
	圏外	0.92	0.27	198
	総和	0.93	0.25	497

表 60 コンドームなしのペニスをなめたら

テスト	圏内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圏内	0.61	0.49	148
	圏外	0.73	0.44	98
	総和	0.66	0.47	246
ポスト	圏内	0.79	0.41	151
	圏外	0.7	0.46	100
	総和	0.76	0.43	251
総和	圏内	0.71	0.46	299
	圏外	0.72	0.45	198
	総和	0.71	0.45	497

表 61 コンドームなしでペニスをなめられたら

テスト	圏内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圏内	0.6892	0.4644	148
	圏外	0.602	0.492	98
	総和	0.6545	0.4765	246
ポスト	圏内	0.7682	0.4234	151
	圏外	0.69	0.4648	100
	総和	0.7371	0.4411	251
総和	圏内	0.7291	0.4452	299
	圏外	0.6465	0.4793	198
	総和	0.6962	0.4604	497

表 62 コンドームなしで肛門内射精されたら

テスト	圏内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圏内	0.96	0.2	148
	圏外	0.98	0.14	98
	総和	0.97	0.18	246
ポスト	圏内	0.98	0.14	151
	圏外	0.98	0.14	100
	総和	0.98	0.14	251
総和	圏内	0.97	0.17	299
	圏外	0.98	0.14	198
	総和	0.97	0.16	497

表 63 コンドームなしでアナルにペニスを入れたら

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	0.79	0.41	148
	圏外	0.82	0.39	98
	総和	0.8	0.4	246
ポスト	圈内	0.86	0.35	151
	圏外	0.84	0.37	100
	総和	0.85	0.36	251
総和	圈内	0.83	0.38	299
	圏外	0.83	0.38	198
	総和	0.83	0.38	497

表 64 Hな感じがする

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	3.2925	1.3201	147
	圏外	3.6947	1.1584	95
	総和	3.4504	1.272	242
ポスト	圈内	4.2384	1.1297	151
	圏外	4.2755	0.9057	98
	総和	4.253	1.0455	249
総和	圈内	3.7718	1.3136	298
	圏外	3.9896	1.0752	193
	総和	3.8574	1.2289	491

表 65 気持ちよい

テスト	圈内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圈内	3.7007	1.367	147
	圏外	3.9167	1.0226	96
	総和	3.786	1.2446	243
ポスト	圈内	4.6424	1.0089	151
	圏外	4.3878	0.8571	98
	総和	4.5422	0.9584	249
総和	圈内	4.1779	1.2865	298
	圏外	4.1546	0.9694	194
	総和	4.1687	1.1708	492

表 66 いろいろなやりかたがある

テスト	圏内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圏内	3.9392	1.6381	148
	圏外	4.4167	1.4117	96
	総和	4.127	1.5675	244
ポスト	圏内	5.302	0.9278	149
	圏外	5.0632	1.06	95
	総和	5.209	0.9862	244
総和	圏内	4.6229	1.493	297
	圏外	4.7382	1.2874	191
	総和	4.668	1.4158	488

表 67 フェラチオのときのリスク回避スキルを知っている

テスト	圏内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圏内	2.3973	0.8427	146
	圏外	2.2211	0.913	95
	総和	2.3278	0.8735	241
ポスト	圏内	3.2914	0.5726	151
	圏外	3.0918	0.6436	98
	総和	3.2129	0.6081	249
総和	圏内	2.8519	0.8453	297
	圏外	2.6632	0.8988	193
	総和	2.7776	0.8707	490

表 68 アナルセックスのときのリスク回避スキルを知っている

テスト	圏内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圏内	2.619	0.9091	147
	圏外	2.5102	0.9109	98
	総和	2.5755	0.9095	245
ポスト	圏内	3.34	0.5656	150
	圏外	3.2041	0.5365	98
	総和	3.2863	0.5572	248
総和	圏内	2.9832	0.8361	297
	圏外	2.8571	0.8228	196
	総和	2.9331	0.8323	493

表 69 口内射精されるのを避けることができる

テスト	圏内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圏内	3	0.7438	142
	圏外	3.1979	0.8159	96
	総和	3.0798	0.7781	238
ポスト	圏内	3.5563	0.5494	151
	圏外	3.4898	0.5963	98
	総和	3.5301	0.568	249
総和	圏内	3.2867	0.7069	293
	圏外	3.3454	0.7265	194
	総和	3.3101	0.7146	487

表 70 アナルセックスでコンドームを使うことができる

テスト	圏内圏外	平均値	標準偏差	N
プレ	圏内	3.4894	0.7032	141
	圏外	3.5464	0.6127	97
	総和	3.5126	0.6671	238
ポスト	圏内	3.7815	0.4146	151
	圏外	3.6392	0.5039	97
	総和	3.7258	0.456	248
総和	圏内	3.6404	0.5898	292
	圏外	3.5928	0.5614	194
	総和	3.6214	0.5785	486

表 71 「マンガを活用した啓発資料」におけるチラシ読了群と非読了群の比較

領域	項目	読了群 (n=57)		非読了群 (n=55)	
		n	平均	n	平均
スキル					
	フェラチオで HIV 感染を避ける方法を知っている	55	2.75*	55	2.33
	相手のコンドームなしのアナルセックスを止める方法を知っている	57	2.95*	55	2.5
自己効力感					
	相手の口内射精を避けることができる	57	3.05*	55	2.69
	アナルセックスの時にコンドームを使うことができる	57	3.53*	55	3.36
性行動					
	口内射精をした	55	2.31	54	2.43
	口内射精をされた	54	2.31	54	2.11
	アナルにペニスを入れるときコンドームを使わなかった	49	1.35*	49	1.82
	アナルにペニスを入れられるときコンドームを使わなかった	49	1.29†	49	1.67

\* p < 0.05, † p < 0.10

1) スキル、自己効力感は 4 点式リカーツスケールを用いた

2) 性行動のうち、口内射精をした/されたは 5 点式リカーツスケールを、アナルセックスは 4 点式リカーツスケールを用いた



# LIFEGUARD 2003-2004

## バージョンA

### シナリオ台本

第1部 ミニ・レクチャー 「基礎知識を知ろう！」

第2部 パネルゲーム 「テクニックとハウツーをみがけ！」

第3部 トリビア&フリートーク 「知らなかった、こんな話！」

#### 〈開始前〉

##### <BGM>

Tr1: Missy Elliott [Work It]

Tr2: Salt-N-Pepa [Let's Talk About Sex]

Tr3: Right Said Fred [I'm Too Sexy]

#### アシスタント

- \* 開始時間の案内
- \* 配布物の確認
- \* プレ・テストの記入のお願いと回収のお知らせ

#### 〈導入部〉

(5分)

##### <BGM チェンジ>

Tr4: P!nk [Feel Good Time]

Tr5: LeAnn Rimes [Life Goes On]

◆アシスタント、MC、登場。

#### ▲アシスタント

たいへんお待たせしましたー。ただいまより、

ライフガード2004を始めたいと思います。よろしくお祈りします！

えー、今日アシスタントを務める、〇〇と言います。どうもです。

#### ■MC

こんにちはー、皆さんようこそいらっしゃいました。

今日のライフガードを同じく進行させていただきます、〇〇です。

今日は、2時間くらいを使って、みんなで、セックスやエイズのことについて、遊びながら考えていきたいと思っています。気楽に参加してくださいね。

#### \*イベントの説明

#### ■MC

では早速、今回のLIFEGUARD オフバージョンの説明に入りたいと思います。

- ・ 僕らゲイの間でエイズの感染は確実に増えています。最近3ヶ月で300名の方が新しく感染がわかりましたが、そのうちの60%弱をゲイの人が占めています。僕らの生活にも身近な問題ですよ。そう、友達のなかにいたっておかしくないし、この問題はまったくもって他人事ではないんですね。
- ・ ということで、去年から札幌・東京・松山で実施した「LIFEGUARD」ですが、これはゲイのためのエイズ予防キャンペーン

の一環です。ちょっと真面目にエッチの  
ことやエイズのことを考えられて、楽し  
むこともできる！ そんな場を増やすこ  
とで僕らのなかでの意識が変わっていけ  
れば、ということで、こういったイベン  
トを行っています。今年は、3月までに  
札幌・東京・松山で14件のゲイバーでや  
ることになっています。バーという雰囲気  
のなかで、去年よりももっと気楽にと  
いうコンセプトで実施しています！

**▲アシスタント**

- ・ で、感染を予防するための情報やテクニ  
ックを伝えていくために、こういった出  
前勉強会みたいなことをしてるわけですが、  
もっと知りたい！という人は、さっ  
きお配りした袋の中にあるパンフレット  
などを見てみてください。予防キャンペ  
ーとして、他にもバーやハッテン場でパ  
ンフレットやコンドームを配ったり、フ  
リーダイアルの電話相談、エイズだけじ  
ゃない性病つまり STD のことが何でもわ  
かるホームページもあります。ご利用し  
てみてくださいね。

**■MC**

- ・ はい、この LIFEGUARD ですが、「オフ会」  
のように、終了後は僕らスタッフも含め  
て飲みながら交流していこうというのも  
目玉の一つです。こういう中で、「出会い」  
があってもいいですよ？

**▲アシスタント**

- ・ うんうん。

**■MC**

- ・ 今日のこの企画では、一つ目に基礎的な  
エイズの予防知識を知ること、二つ目に  
セイファーセックスのテクニックを知る  
こと、三つ目に他の人たちの体験や考え  
方を知ること、がメインの内容となって  
います。もちろん、出会ってというチャ  
ンスも大きな要素ですよ！

**▲アシスタント**

〇〇さん、ずいぶん強調してますけど…やっぱ  
り出会いは大事ですか？

**■MC**

そりゃもちろんですよ。各地で LIFEGUARD を 14  
回やるって聞いて、ホント毎回楽しみですもん。  
そうそう終了後も…。

**\*プログラムと進行**

**▲アシスタント**

- ・ はい、説明は以上で、ここで僕のほうから  
プログラム内容を紹介します。
- ・ 今日は、3部構成になっています。お配り  
した資料にもありますので、見てみていた  
だけますか？  
「第1部 ミニ・レクチャー（基礎知識  
を知ろう！）」、「第2部 パネルゲーム(テ  
クニックとハウツーをみがけ！)」、「第3部  
トリビア&フリートーク（知らなかった、  
こんな話！）」となっています。
- ・ 各コーナーで、趣向を凝らしたゲームなど  
を用意していますので、肩肘はらずに楽し  
みながら参加してくださいね。
- ・ プログラムについての説明はここまでです  
が、始まる前にお願いが2つあります。

<BGM チェンジ>  
フェードアウト

**▲アシスタント**

- ・ お手数ですが、プログラム中は、携帯電話  
などをお持ちの方は、着信音などを切って  
頂けると幸いです。
- ・ あとですね、プログラム中に写真を撮らせ  
て頂きたいと思っています。これはこのイ  
ベントの案内などに使うものですが、個人  
を特定できるような使い方はしませんの  
で、ぜひご理解いただければと思います。
- ・ 以上、よろしくお願ひします！

<BGM チェンジ>  
Tr6: Right Said Fred [A Love for All Season]  
Tr7: Right Said Fred [No One on Earth]  
Tr8: Right Said Fred [Don't Talk Just Kiss]  
Tr9: Right Said Fred [Hands Up for Lovers]  
Tr10: Right Said Fred [Rocket Town]

## 第1部

### ミニレクチャー

#### 「基礎知識を知ろう！」

(20分)

(MC、アシスタントの登場)

■MC

はい、それでは第1部を始めたいと思います。第1部「ミニ・レクチャー」では、これだけは知っておいてほしい、これを押さえとけばかなり安心！というエイズに関する基礎知識とゲイのセックスのいくつかについてレクチャーします。

では、早速質問ですが、エイズって何のことでしょう？ エイズについてのイメージなんかを教えてくださいませんか？（参加者数人にふる＝※ウォーミングアップ効果）

僕も、「〇〇」というイメージをもってましたね。では、「エイズ」とは何のことかちょっと聞いてみましょう。

▲アシスタント

簡単に説明しちゃいますが、エイズとは、正式には「後天性免疫不全症候群」って言うんですね。ちょっと難しく聞こえるかもしれませんが、ヒト免疫不全ウイルス、略して「HIV」が、人の「免疫機能」を弱らせて、普段なら大丈夫な病気にも負けてしまって、カラダを弱らせてしまう。そういう病気ですね。

でも、そんな病気ではありますけれど、今では副作用も少なく効果のある薬の出現で、ずいぶんと死亡率が下がっている、という事実もあります。日本の厚生労働省で認可されている薬は、現在16種類あって、数種類の組み合わせを使って、免疫機能の指標であるCD4という数値を下げないように、また、ウイルス量を増やさないように、という治療がなされています。感染したらすぐ死んでしまう、という状況ではなくなっています。

ただし、もちろんそういった治療を行うためには、お金や福祉という新しい問題もでてきますし、完全にウイルスをやっつけることができない現状では、感染したら悩みをもってしまうのも事実ですから、感染しないためには？ということ考

えるのも大切ですね。

■MC

では、早速、基礎知識のミニ・レクチャーに入りますでしょうか？

▲アシスタント

はい、そうですね。

<関係する体液>

(アシスタント、パネルを出す)

▲アシスタント

まず、1番目。基礎の基礎となる、「体液」について考えていきたいと思います。

体液とは、体の液という文字通り、体内の液体のことですね。ここでは、エイズに感染しうる体液は何？という質問なんですが、なんだと思いますか？

■MC

(参加者にふる) → やりとり＝アドリブ

■MC

はい、では正解をお願いします。

▲アシスタント

はい。感染の可能性のある体液は…（付箋をはがしながら）血液、精液、膣分泌液、先走り液、となります。

■MC

ま、膣分泌液を除くとしても、いくつか忘れそうなポイントを抑えておきましょうか。

ええ、先走りには、精液に比べてウイルスは少ないと言われてはいますが、このように感染しうるかどうかという意味では、「ある」に入りますね。

ということは、それ以外は、感染の可能性がないということですね。

(▲アシスタントが付箋をはがす)

■アシスタント

はい、唾液は全く関係ありません。唾液で感染するのでは？と心配してる人いませんか？ その必要は全くありませんからね。

<関係するカラダの部分>

(▲アシスタント、パネルを出す)

▲アシスタント

はい、2番目に行きます。次は、それら精液、血液、先走り液が、体の「どこ」に付いたら、感

染が起りえるのでしょうか？…ということで、どうでしょう？

■MC

(参加者にふる) → やりとり=アドリブ

■MC

はい、ではまた正解をお願いします。

▲アシスタント

はい。カラダのどこに気をつければいいのか？…(付箋をはがしながら)口の中、アナルの中、尿道口、傷、となります。

■MC

(パネルを示しながら)これらは、いわゆる粘膜といわれているところですね。普段濡れているところ、そして皮膚で守られていない部分です。傷というのも粘膜の状態になっているような傷口のことですね。ここに、直接、血液や精液などが接触すると、感染の可能性が出てくるんですね。

▲アシスタント

そうですね。ということは、(付箋をはがす)手とか、ペニスのさおの部分、は皮膚で守られているから、感染しないわけですね。そうです、龟头は大丈夫、でも尿道は粘膜なんです。ここらへん、セイファーセックスするとき、ちょっと微妙に考える部分ではありますよね。尿道を避ける…なるほど鍵になりそうですね、これは。

■MC

ここでちょっとおさえておきたいことがあります。エイズの場合、ウイルスの感染力が弱いので、感染のリスクのある体液が粘膜や傷口についても、絶対に感染するという事ではないんですね。コンドームなしのアナルセックスで、0.1~1%の確率だと言われています。

▲アシスタント

え？ じゃあ、感染してる人に、アナルのなかで100発射精されても、1回感染するかどうかでことですか？

■MC

ま、それが100発のうちの1回目で感染するか、100回目で感染するかはわかりませんがね~！確率という点で考えれば、100分の1~1,000分の1、っていうことですね。

<リスク・グラデーション>

▲アシスタント

次、3番目は、どんなエッチの行為がリスクが高いのか？ グラデーションというかたちで考えていきたいと思います。

(▲アシスタント、パネルを出す)

■MC

はい。横軸、これがリスクが明らかなのか曖昧なのか、という軸ですね。そして縦軸、これがリスクが高いのか低いのか、という軸ですね。

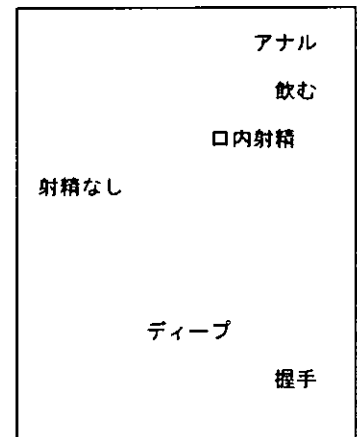
▲アシスタント

そうなんです。(コマを取り出しながら)そして、この6つのコマを、配置していきながら考えるというのが、このコーナーの3番目となる「リスク・グラデーション」なんです。

■MC

なるほど。

ここに6つのコマがあります。ゲイのセックスでよくあるパターンということで、「握手」、「ディープキス」「先走りを舐める」「精液を受ける」「精液を飲む」「ゴムなしアナル」があります。これをこのパネルに貼っていきます。



■アシスタント

なるほど。はっきりとリスクのあるもの、はっきりとリスクのないものが、これでわかりやすくなりましたね。

■MC

握手、ディープキス、ではまず感染は考えられないと思っていいですね。さっき、唾液では感染しない！と言いましたが、ディープキスだって、血が口から出てる人とディープキスしたら、味がわかるはずですからね。ディープキスはうつしてやる！ってなことがない限り、感染するとは思えません。

▲アシスタント

で、曖昧なものがありますね。フェラチオのいくつかですけど…。射精がなくても可能性がゼロとはいえないわけですね。

■MC

フェラチオでも、「される」場合(※ジェスチャー)は感染しませんが、「する」場合(※ジェ